

基調講演

資料

三遠南信の新ステージに向け

平成23年10月24日
芝浦工業大学MOT教授
谷口 博昭

目次

- 1. 大きな変化／復興から再生へ
- 2. 大きな価値観／大きな絵
- 3. これからの経済政策／成長戦略
- 4. これからの地域社会／インフラ
- 5. みちの文化
- 6. 三遠南信の新ステージ

1. 大きな変化／復興から再生へ

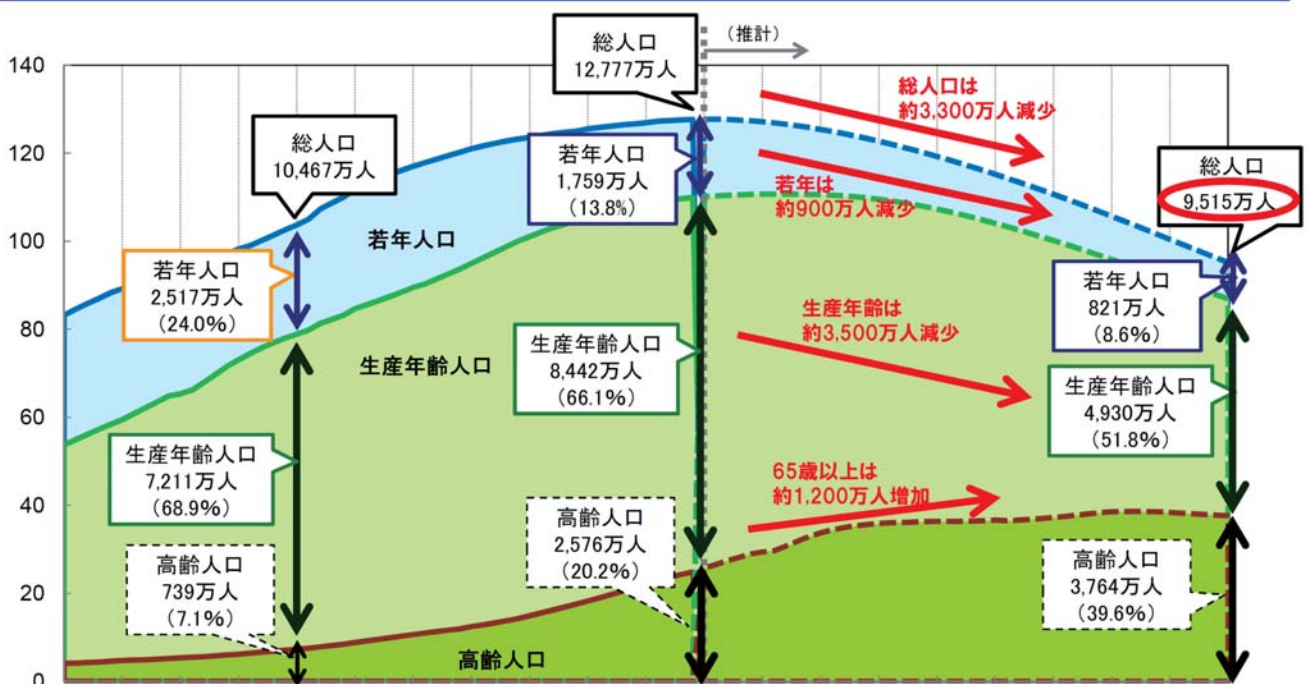
- グローバリゼーション（経済、ICT, 環境、資源）
- 少子高齢化、人口減少
- 政治主導、地域主権、規制緩和
- 東日本大震災 史上最大M9.0 巨大津波、広範囲、原発事故
- 教訓（脆弱な国土、ネットワーク化）
- 復興から再生へ

第I章 長期展望の前提となる大きな潮流

2050年には日本の総人口は3,300万人減少

国土交通省

○日本の総人口は、2050年には、9,515万人と約3,300万人減少（約25.5%減少）。
 ○65歳以上人口は約1,200万人増加するのに対し、生産年齢人口（15-64歳）は約3,500万人、若年人口（0-14歳）は約900万人減少する。その結果、高齢化率で見ればおよそ20%から40%へと高まる。



1950 1955 1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2025 2030 2035 2040 2045 2050 (年)

(出典) 総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」における出生中位（死亡中位）推計をもとに、国土交通省国土計画局作成

(注1) 「生産年齢人口」は15～64歳の者の人口、「高齢人口」は65歳以上の者の人口
 (注2) ()内は若年人口、生産年齢人口、高齢人口がそれぞれ総人口のうち占める割合
 (注3) 2005年は、年齢不詳の人口を各歳別に按分して含めている

「国土の長期展望」中間とりまとめ(平成23年2月22日)より抜粋

「くしの歯」作戦

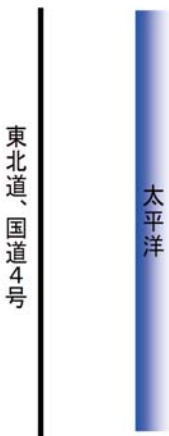
第1ステップ 東北道、国道4号の**縦軸ライン確保**

第2ステップ 東北道、国道4号からの**横軸ラインを確保**

3/12: 16本のうち、11ルート啓開
3/15: 15ルート啓開

第3ステップ 3/18: 国道45号、6号の97%啓開(作戦終了)

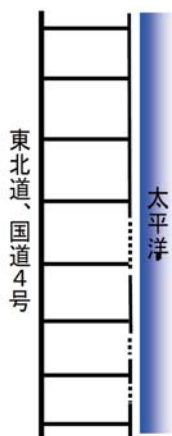
<第1ステップ>



<第2ステップ>



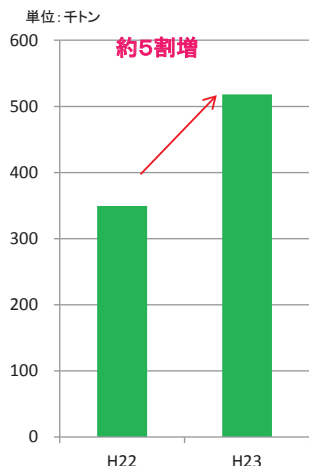
<第3ステップ>



日本海側からの支援

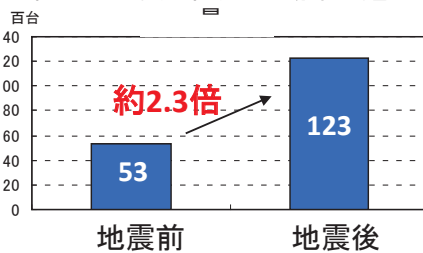
- 救援物資等の酒田港の取扱量が**約5割増加**。
- 横軸の幹線道路(R113)の自動車交通量が**約2.3倍**

酒田港の総取扱貨物量
(3月～4月)



※H23速報値を前年同時期と比較

国道113号(小国)の自動車交通



※地震前: 3/1～3/10、地震後: 3/13～3/19



▲支援ルートの確保(月山道路)



2. 大きな価値観／大きな絵

- 自立と共生(ともいき)、私と公、個と全体
- まんだら／大きな絵(BIG PICTURE)

- まんだらのこころ／パートナーシップ
- 国と地方、官と民、大と中小、元下

- WIN=WINの関係、自他利

7

3. これからの経済政策／成長戦略

- 経世済民
- 経済政策; 成長、安定、調整のバランス
- $GDP = \text{消費} + \text{投資} + \text{政府支出} + \text{経常収支}$

- 比較優位、国際分業
- 国内還元・循環、内需主導経済

- 成長戦略

新成長戦略

新成長戦略(基本方針) 平成21年12月30日閣議決定

新成長戦略 平成22年6月18日閣議決定

強みを生かす成長分野

- (1) グリーン・イノベーションによる環境・エネルギー大国戦略
- (2) ライフ・イノベーションによる健康大国戦略

フロンティアの開拓による成長

- (3) アジア経済戦略
- (4) 観光立国・地域活性化戦略

成長を支えるプラットフォーム

- (5) 科学・技術・情報通信立国戦略
- (6) 雇用・人材戦略
- (7) 金融戦略

9

国土交通省成長戦略について

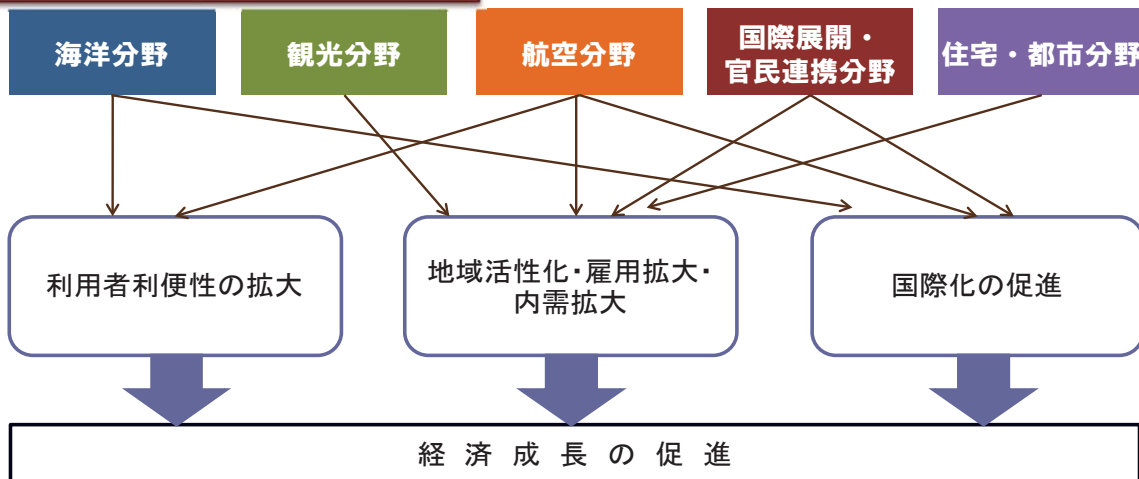
成長戦略の必要性和ねらい

- 中国をはじめ高成長を遂げるアジア諸国の活力を日本経済に取り込む
- 国交省管轄サービス産業について、ICT技術や民間の知恵と資金の活用により、生産性の向上とパイの拡大

旧来メカニズムを変革するためのドライバー

- ① 集中投資
- ② 民間の知恵と資金の導入
- ③ 規制改革
- ④ グローバル化に対応した人材育成
- ⑤ 政治のリーダーシップ

達成すべき目標と5つの対象分野



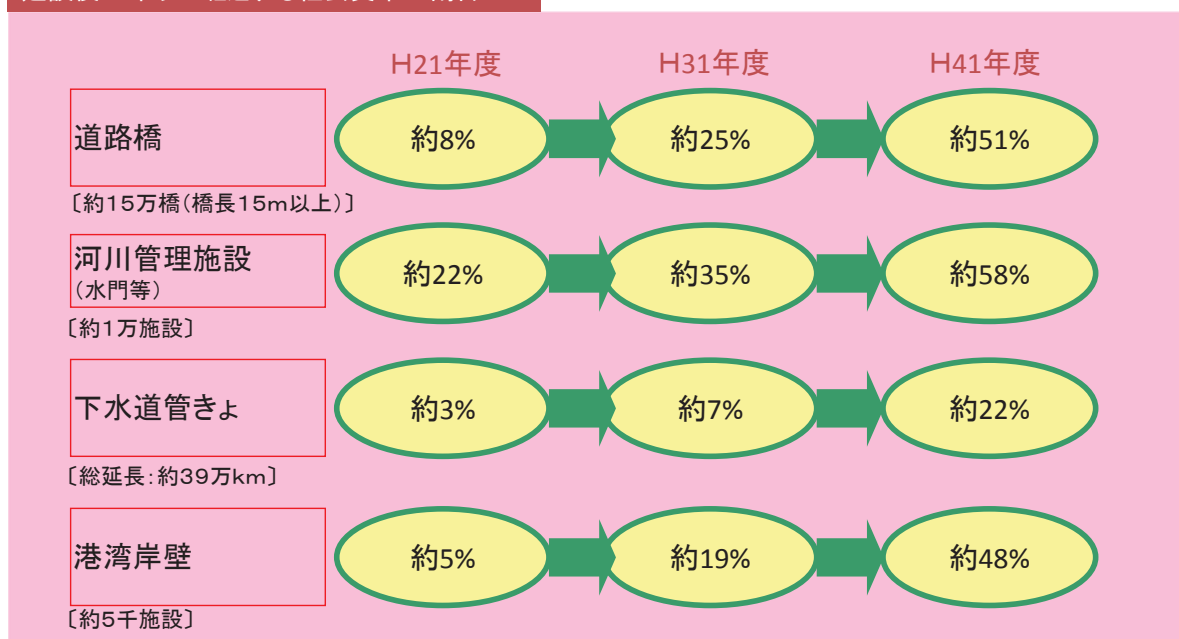
4. これからの地域社会／インフラ 自然資本、社会資本、制度資本

- 国家の責任
- グローバルな危機管理、安全安心
- 自立と共生、地産地消
- 陸海空連携ネットワーク
- 維持管理更新の道筋
- BIG PICTURE／選択、集中
- 首長の責任
- 都市間競争、魅力競争
- 都市の経営
- 交流・連携と集約化
- スマート、歩いて暮らせる街中
- 地域資源の保全、活用
- 環境、歴史文化、自然再生エネルギー

高齢化する社会資本

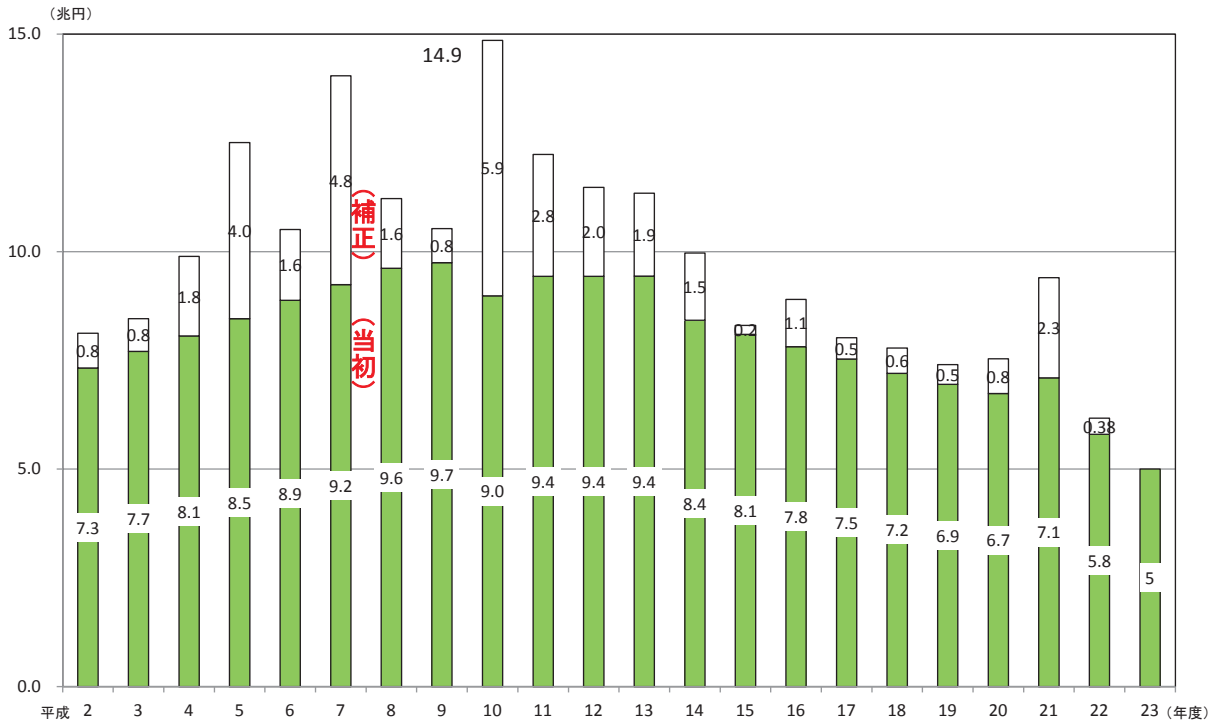
高度成長期に大量に整備された道路、河川、下水、港湾等について、社会資本全体の高齢化が急速に進行することが想定される。

建設後50年以上経過する社会資本の割合



公共事業関係費の推移

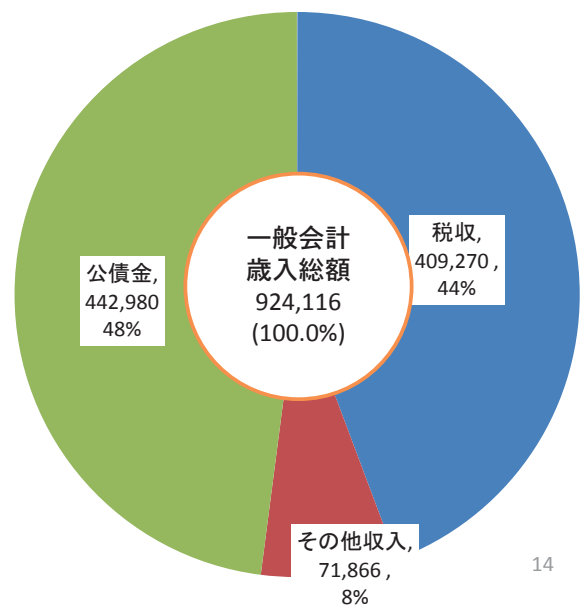
公共事業関係費は平成10年をピークに年々減少。
 平成22年度は当初予算ベースで対前年度比18%の大幅な削減。
 平成23年度も平成22年度からさらに14%の削減となった。



※平成21年度は、平成20年度で特別会計に直入されていた「地方道路整備臨時交付金」相当額(6825億円)が一般会計計上に切り替わったため、見かけ上は前年度よりも増加(+5.0%)しているが、この特殊要因を除けば△4.5%である。

平成23年度予算の概要

- ・歳出総額は平成22年度予算とほぼ同等。
 - ・社会保障費が29兆円で31%を占め、昨年度に比べ1.5兆円増。
 - ・公共事業関係費は5兆円で5.4%を占め、昨年度に比べ0.8兆円減、
 - ・国債費が22兆円で23.3%を占め、昨年度に比べ1兆円増。
-
- ・歳入総額92兆円のうち、44兆円(48%)が公債金であり、そのうち38兆円が赤字公債。
 - ・その他収入には、(独)鉄運機構の剰余金1.2兆円、財投特会の積立金1.1兆円、外為特会2.9兆円等が含まれている。



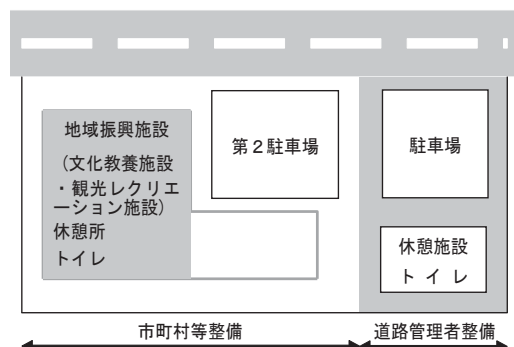
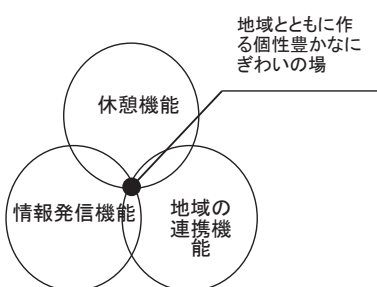
5. みちの文化

- 日本、道の文化
- 欧米、広場の文化
- みち
- 道
- 路
- 美知
- 未知
- 道の多様な機能
- 道の駅
- 休憩、情報、地域経済・交流、防災
- シーニックバイウェイ
- 日本風景街道

道の駅の取組み

■道の駅は、道路の沿線に駐車場やトイレなどの「休憩機能」、道路情報や地域に関する情報を発信する「情報発信機能」、交流を促進する「地域の連携機能」の3つの機能を併せ持つ施設として誕生しました。（平成23年7月現在、970駅が登録）

【道の駅のイメージ】



【道の駅の事例】

「夕張メロード」北海道夕張市(平成23年3月登録)



JR新夕張駅隣接
普通車34台収用
最新の登録18駅の1つ



「大栄」鳥取県北栄町(平成5年4月登録)

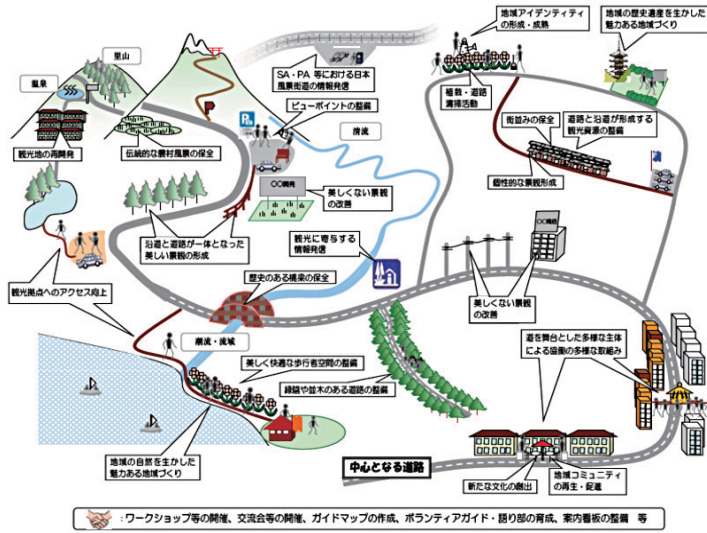


普通車149台・大型車20台収用
第1回登録103駅の1つ

日本風景街道の取組み

■郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を支援（平成22年8月末現在、119地区が登録）

【日本風景街道のイメージ】



【取組み例】シーニックバイウェイ北海道 ～大雪・富良野ルート～



支障物件(看板)の撤去



ルートで連携したゴミ清掃「ゴミゼロキャンペーン」



花で修景された沿道景観



シーニックデッキ（景観テラス）の設置

6. 三遠南信の新ステージに向け

- 古くから交流、天竜川流域、秋葉街道、三州街道
- 三遠南信道路の進捗
- 第二東名の進捗
- 中央リニアの進捗
- 安全安心な地域づくりを目指して

古くからの交流（天竜川流域・秋葉街道・三州街道）

三遠南信地域の歴史的なつながり

- 三州街道（飯田街道）、秋葉街道（遠州街道）は、「塩の道」と呼ばれ地域間交流が活発
 - 天竜川・豊川流域は、生活品、鉱石等の舟運による物流により深い結びつき
- ⇒ 文化、経済、信仰など様々な分野において独自の生活文化圏を形成



筏下りの状況

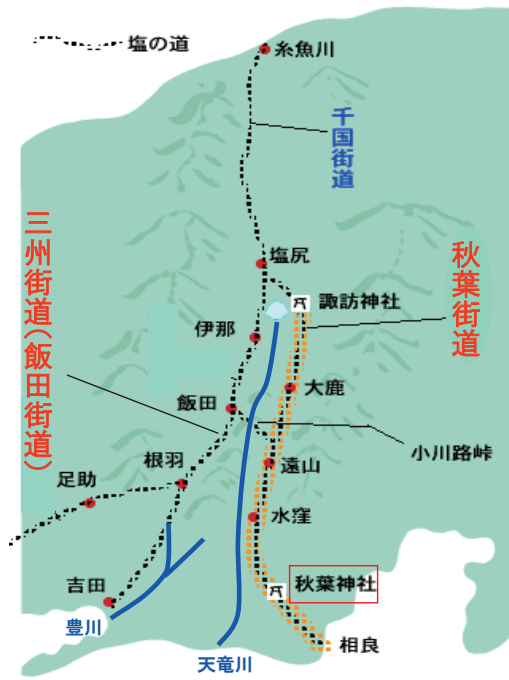


鉱物輸送船（久裡鉱山の帆かけ舟）

天竜川の舟運（鷲流峡付近）



荷物を運ぶ中馬



霜月祭り（飯田市上村）



秋葉神社（浜松市三町町）

三遠南信自動車道の進捗

三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路 鳳来IC～引佐北IC間 平成23年度供用予定

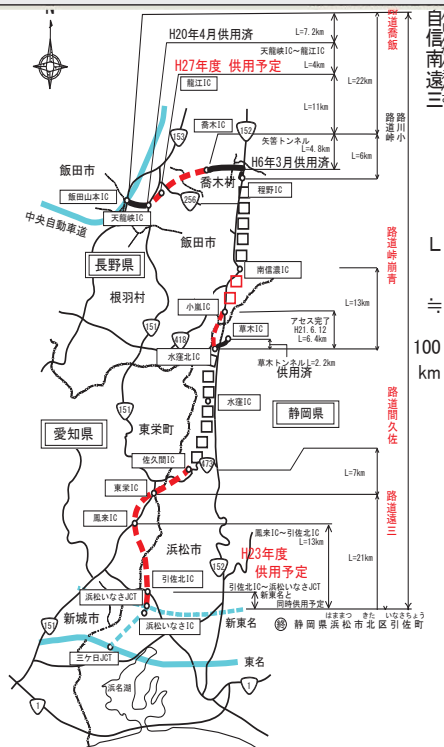
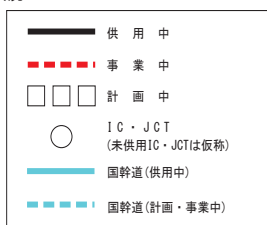
- 災害に強い地域ネットワークの構築 → 三連動地震等に備えた信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 高速サービスの向上による地域間連携の強化 → 新東名とつながり、南信地域と名古屋・静岡圏との交流活発化
- 地域医療サービスの向上 → 第三次救急医療施設へ60分以内での搬送が可能



三遠道路施工状況



飯橋道路施工状況



全線完成時の整備効果

飯田市⇄浜松市

【整備前】4時間

【整備後】2時間

整備後は、三遠南信自動車道及び東名高速道路を利用。

鳳来IC～引佐北IC供用時の整備効果

佐久間病院（第二次医療施設）

【整備前】75分

【整備後】45分



整備後は、三遠南信自動車道及び東名高速道路を利用。

新東名高速道路の進捗

御殿場JCT～三ヶ日JCTの開通は、平成24年初夏。浜松いなさJCT～豊田東JCTの開通は、平成26年度。

- ダブルネットワーク化による信頼性の向上
- 日本の大動脈としての三大都市圏の連携強化
- 現東名の抜本的サービス改善

→現東名と相互補完・連携により道路の信頼性の向上
 →最短ルートを選択により社会経済活動の活発化に寄与
 →交通量に見合った交通容量の確保により、快適な道路空間を確保



中央リニアの進捗

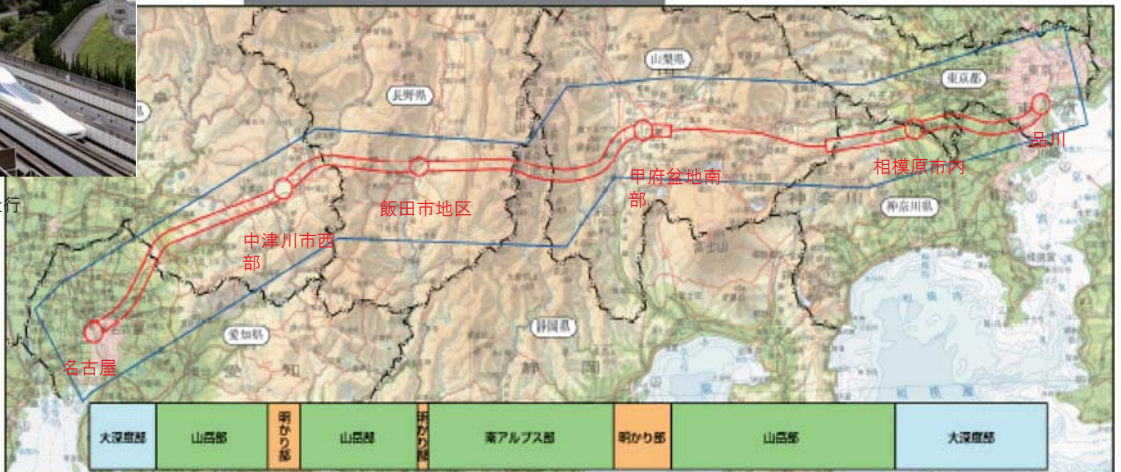
東京都～名古屋市間 2027年(平成39年)開業目標

- 三大都市圏を高速かつ安定的に直結 → 東京～名古屋：所要時間40分。東海道新幹線との大動脈の二重化。
- 三大都市圏以外の沿線地域の振興 → 自然に恵まれた内陸部の沿線地域の特性を活用し、地域の魅力を向上。
- 東海道新幹線の輸送形態の転換 → のぞみが停車しない駅の利用機会の増加などによる沿線地域の活性化。
- 経緯
 - ・昭和48年11月に運輸大臣が基本計画を決定。
 - ・平成23年5月に国土交通大臣がJR東海(株)社に対して建設を指示。
 - ・平成23年6～8月計画段階環境配慮書の公表、9月環境影響評価方法書の公告縦覧開始。
 - ・平成26年度(2014年度)の着工を目標。



山梨リニア実験線での試験走行

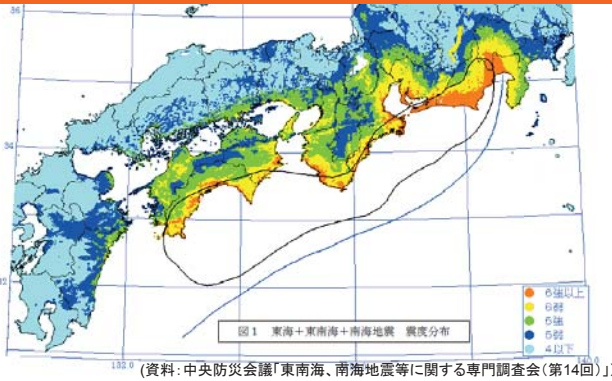
対象計画区域および事業実施想定区域



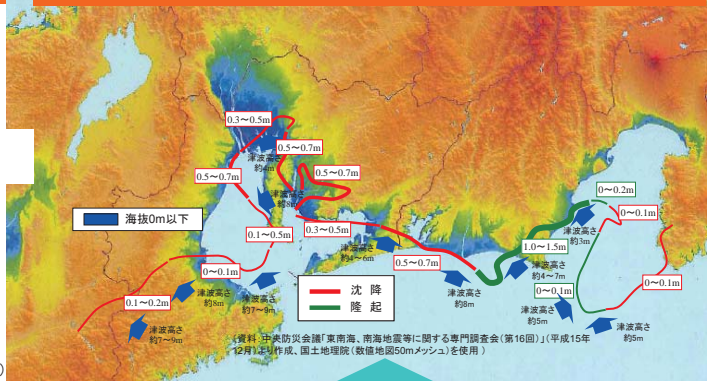
(資料:JR東海発表資料より引用)

安全・安心な地域づくりを目指して ～三連動地震の脅威～

三連動地震における震源域と震度分布



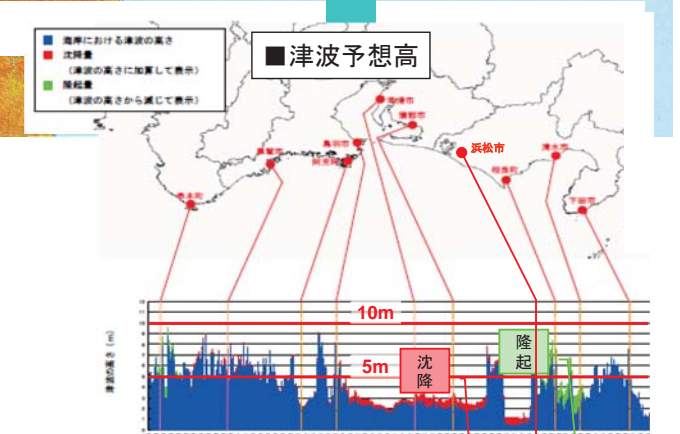
三連動地震による海岸部の地殻変動



三連動地震の被害想定(最大値)

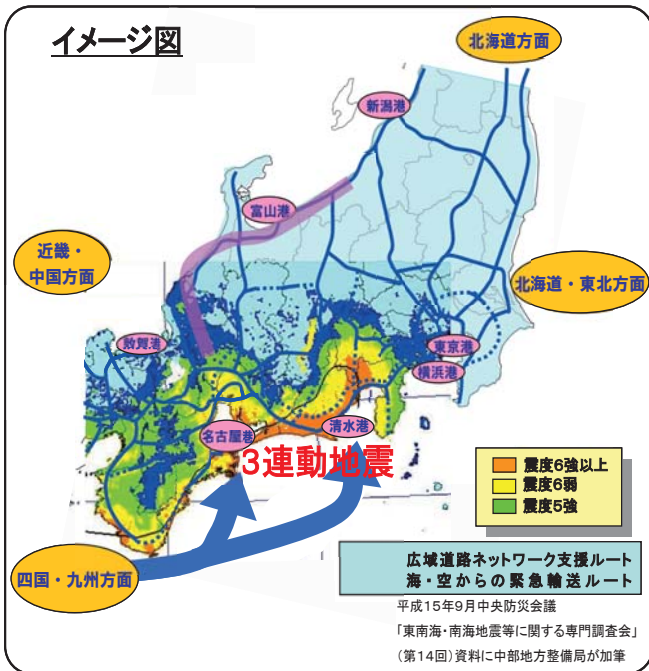
区分	東南海+南海		(参考)	(参考)
			東海	東海+東南海+南海
死者数(人)	建物倒壊	6,600	6,700	12,200
	津波	8,600	1,400	9,100
	斜面災害	2,100	700	2,600
	火災	500	600	900
	合計	17,800	9,200	24,700
全壊建物数	揺られ	170,200	170,000	308,500
	液状化	83,100	26,000	89,700
	津波	40,400	6,800	42,300
	斜面災害	21,700	7,700	27,200
	火災	313,200	250,000	472,500
合計	628,700	460,000	940,200	
経済的被害	直接被害	43兆	26兆	60兆
	間接被害	14兆	11兆	21兆
	合計	57兆	37兆	81兆

(注) 1 数字は概数。内訳と合計は必ずしも一致しない。
死者数は午前5時発生、全壊建物数は午後6時発生を想定。
2 東海:中央防災会議「東海地震対策専門調査会」平成15年3月18日公表
東南海+南海:中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」9月17日公表
東海+東南海+南海:同上

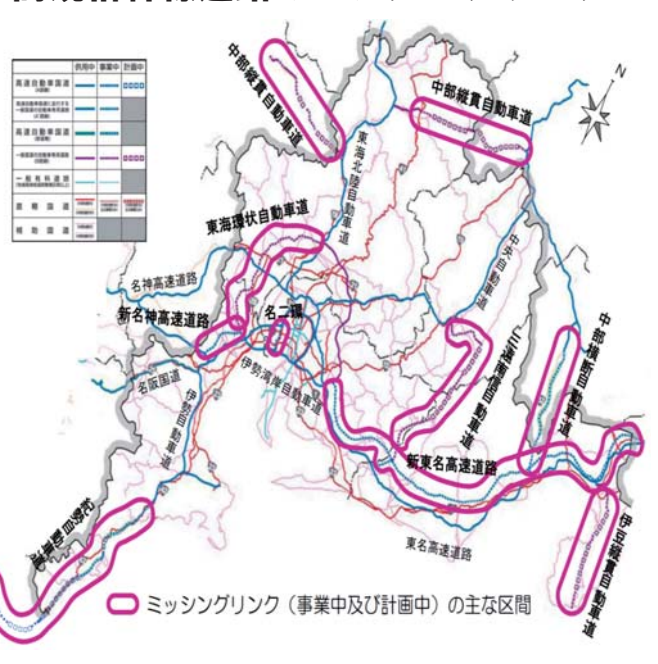


安全・安心な地域づくりを目指して ～東日本大震災の教訓を踏まえた、信頼性の高い道路ネットワークの確保～

緊急救援ルートの確保



高規格幹線道路のミッシングリンク



高規格幹線道路のミッシングリンクの解消が喫緊な課題

東日本大震災の教訓を踏まえれば、東海・東南海・南海地震に直面する中部地方において、信頼性の高い道路ネットワーク整備によるリダンダンシーの確保が急務であり、最優先される人命救助や救援物資輸送の観点からも、高規格幹線道路のミッシングリンクの解消が喫緊な課題。

安全・安心な地域づくりを目指して ～ハード・ソフトの施策を総合した津波に強い街づくり・地域づくり～

地域防災拠点の整備



避難階段の設置



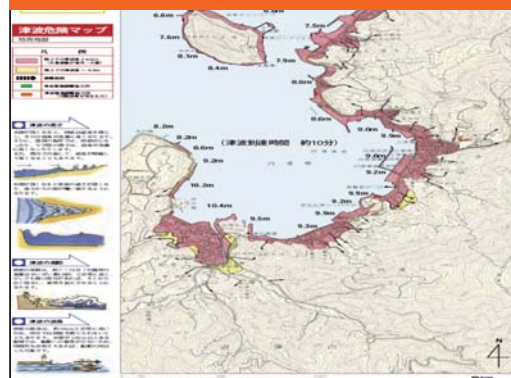
津波想定区域等の情報提供



津波避難訓練



津波ハザードマップ



地域づくりの要諦

- 湯布院、中谷健太郎氏
- 地域づくりは螺旋状、渦巻き状に発展
- いいテーマと巻き込む仕掛け
- チーム力、なでしこジャパン
- 役割と責任、コミュニケーション
- 老若男女、地域社会一丸
- 明治維新; 3千人の如く、止揚(アウフヘーベン)